

## ロシアによるウクライナへの侵略行為を非難し、撤退を強く求める緊急決議

中津市は核兵器の廃絶と恒久的な世界平和を市民の総意として願い、1984年、「非核平和都市」の宣言を行っている。そんな願いを持ちつつも世界を見渡すと局地的な紛争や内紛が絶えない現実がある。そして、今、ロシアによる主権国家であるウクライナへの侵略が開始され、罪もない市民までがこの殺りくに巻き込まれている。このような力による一方的な現状変更は、国際秩序の根幹を揺るがすものであり断じて認められない。

私たちは先の大戦の反省に立ち、二度と戦争は起こさないことを誓い合った。この誓いは、法の支配と主権を尊重する国際社会の連帯のもと世界の恒久平和を願うものである。

この侵略に対して、NATOは武力による解決の選択はしておらず、非暴力の「経済的措置」による対抗策を示している。また、日本政府も国際法に違反する「侵略」と断じ、国際社会と緊密に連携し、非暴力での制裁と人道支援をすすめようとしている。

ウクライナへの武力による侵略はいかなる理由があろうとも決して許されるものではない。砲撃の音と銃声、そして、鳴り響くサイレンのもとで恐怖におびえ、逃げ惑うウクライナの人々の平和への願いを受け止め、ロシア軍の侵略行為を非難し、ただちに撤退を強く求めるものである。

以上、決議する。

令和 4年 3月 1日

大分県中津市議会